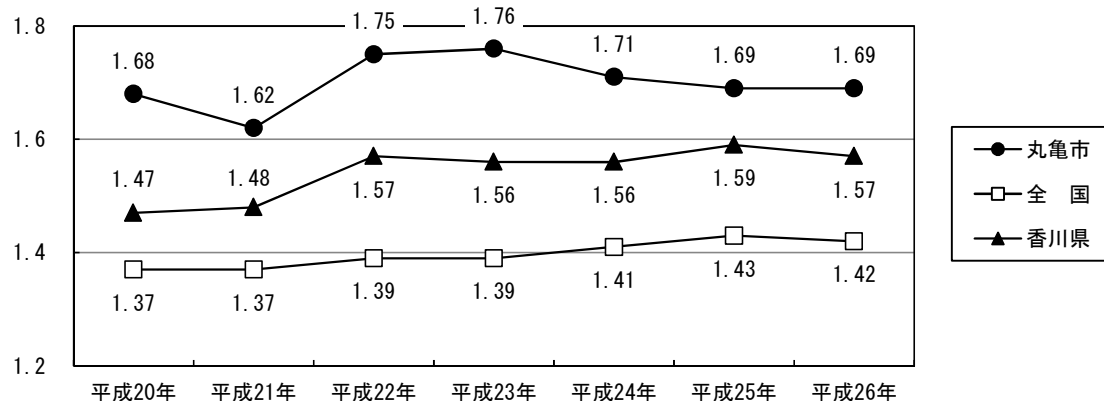


### ⑥ 合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率（女性が一生の間に生む子どもの数）は、近年では、平成23年の1.76をピークに減少傾向にあり、平成26年現在1.69となっています。

丸亀市の合計特殊出生率は全国や香川県平均を上回って推移していますが、現在の人口を維持できるといわれている2.08をはるかに割り込んでいます。

【合計特殊出生率の推移】



資料：全国及び香川県は「人口動態調査」（厚生労働省）

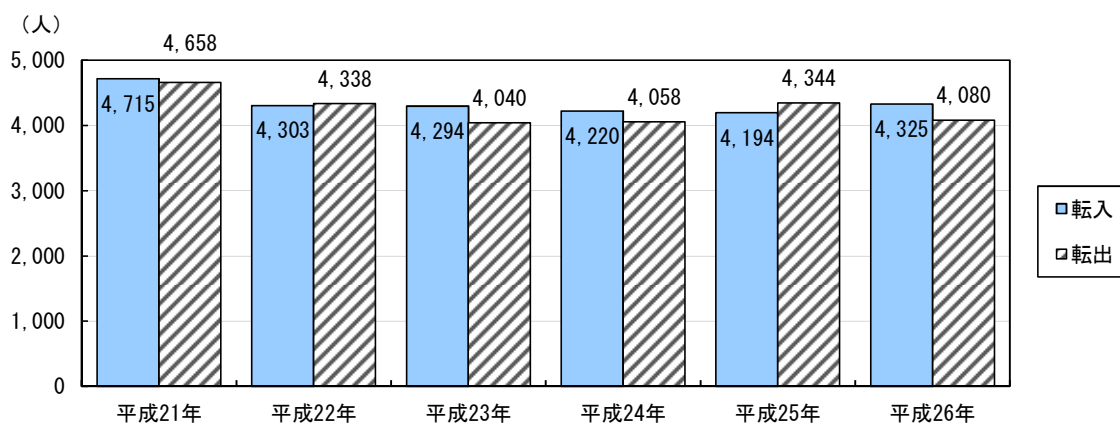
丸亀市は、母親の年齢5歳階級別出生数（「人口動態調査」厚生労働省）と女性の年齢5歳階級別推計人口（香川県人口移動調査）から算出

### ⑦ 社会動態人口の推移

社会動態人口（転入・転出）は、各年においてばらつきがみられ、平成25年には150人の転出超過であったのが、平成26年には245人の転入超過となっています。

いずれにせよ、毎年、4千人強の転入者があり、地域において新しい住民との関係づくりが必要です。

【自然動態人口の推移】



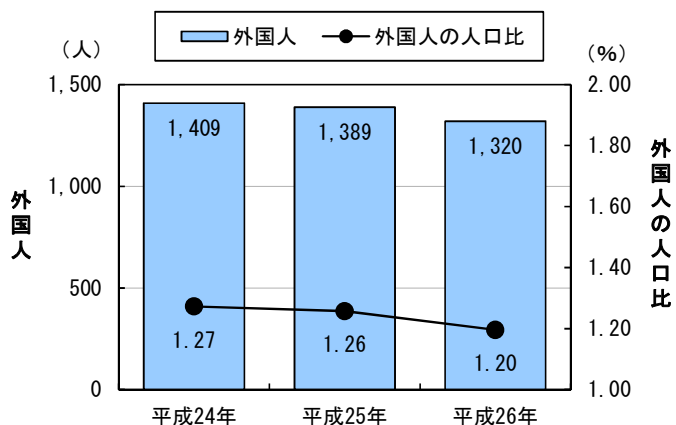
資料：人口動態調査

⑧外国人登録者数の推移

外国人登録者数は減少傾向にあり、平成26年では1,320人、市総人口に占める割合は1.2%となっています。また、外国人の国籍は合計30か国と多岐にわたっていますが、中国、ペルー、フィリピンの3か国で4分の3を占めています。

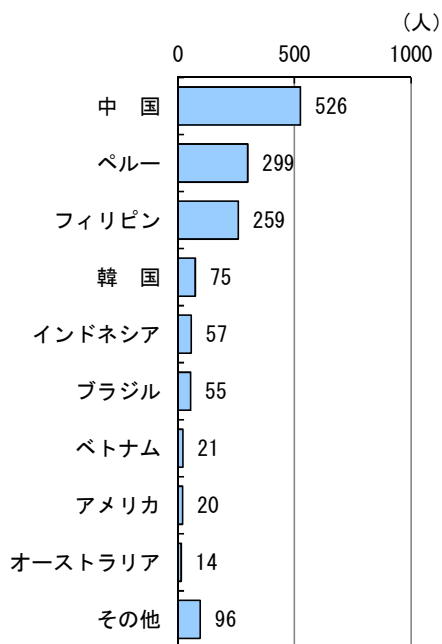
外国人は少数ですが、情報弱者とならないよう、地域の支援が必要です。

【外国人登録者数の推移】



資料：丸亀市市民課  
(平成24年は12月31日、他は9月30日現在)

【外国人登録者の国籍（平成26年）】

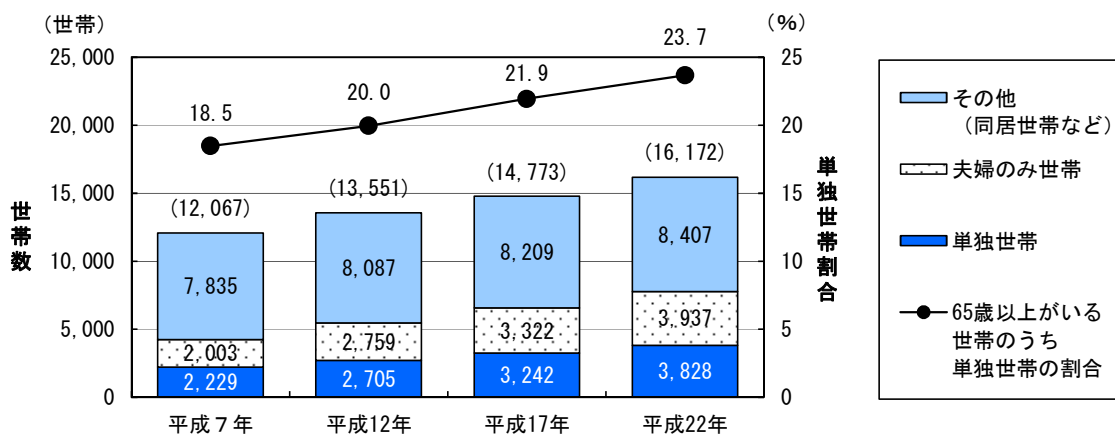


## (2) 市民の状況

### ① 高齢者のいる世帯の状況

65歳以上の高齢者がいる世帯は年々増加し、平成22年には16,172世帯となっています。また、単独世帯（ひとり暮らし）や夫婦のみ世帯も一貫して増加しており、平成22年には、高齢者がいる世帯のうち、単独世帯及び夫婦のみ世帯が半数近くを占めています。

【高齢者のいる世帯の状況】

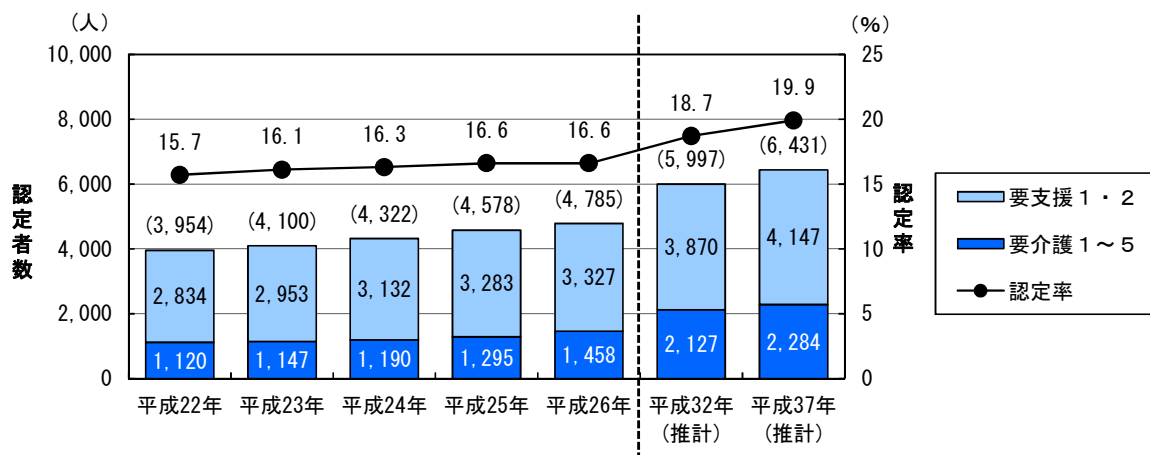


資料：国勢調査

### ② 要介護認定者数の推移

要介護認定者数は年々増加し、平成26年には4,785人となっています。これまで、高齢化率は年々増加しているものの、前期高齢者の割合が高いことから、認定率は横ばい傾向となっていました。今後は後期高齢者が急増していくことから、認定率も上昇が見込まれ、それに伴い認知症の方も急増します。地域においても、要介護者本人や、介護している家族を支えるしくみ、認知症の方を支援する取り組みが求められます。

【要介護認定者数及び認定率の推移】



資料：丸亀市高齢者支援課（各年10月1日）

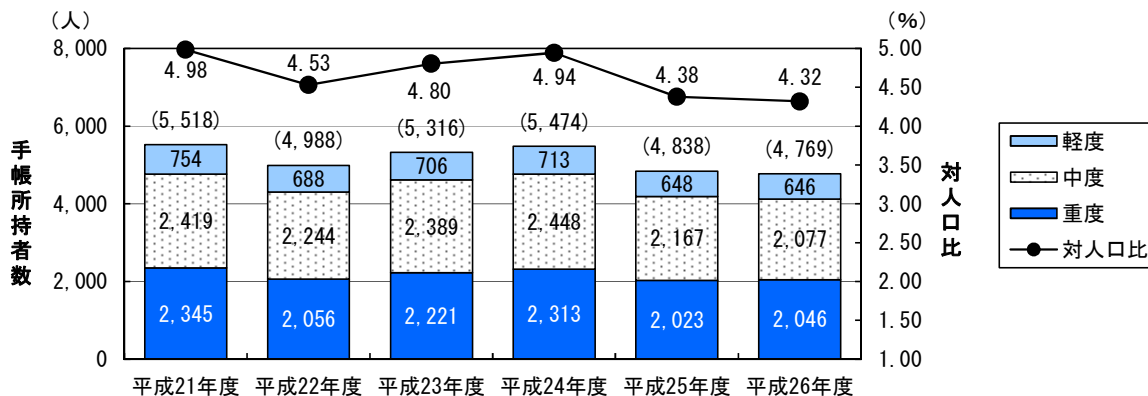
注記：認定率＝認定者数÷第1号被保険者数

### ③障がい者の状況

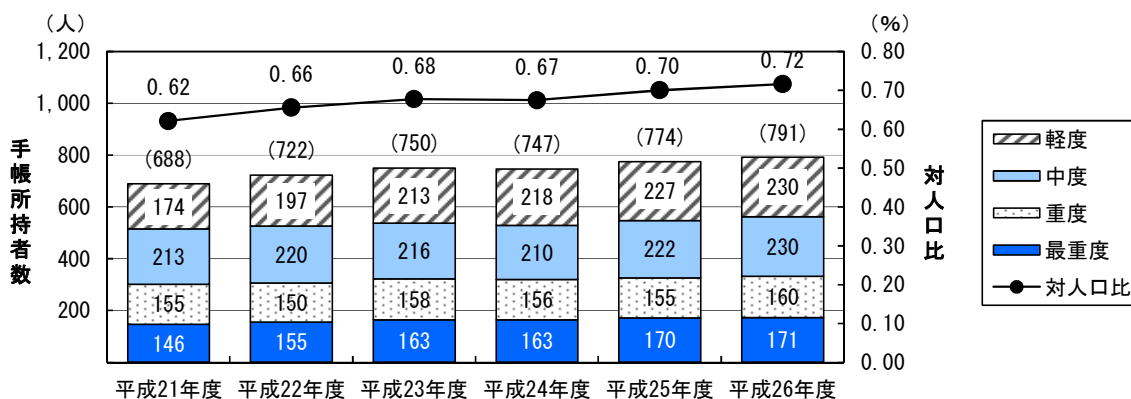
身体障がい者手帳所持者数は、年によってばらつきがありますが、平成24年度以降は減少しています。療育手帳及び精神障がい者保健福祉手帳所持者数は、概ね増加傾向にあります。

障がい者手帳所持者数の市総人口に占める割合は、平成21年度では5.94%であったのが、平成26年度には5.50%と減少しています。

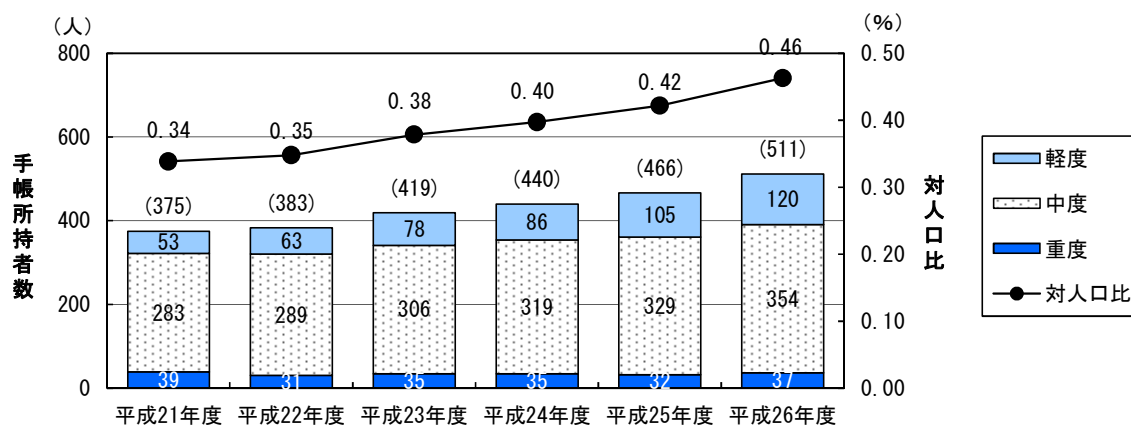
【身体障がい者手帳所持者数の推移】



【療育手帳所持者数の推移】



【精神障がい者保健福祉手帳所持者数の推移】



資料：丸亀市福祉課（各年度末）

## ④18歳未満の子どもがいるひとり親世帯の状況

世帯数は増加傾向にあります。が、「6歳未満及び18歳未満の子どもがいる世帯数」は減少しており、丸亀市の平成22年の「6歳未満の子どもがいる世帯数」は4,634世帯、「18歳未満の子どもがいる世帯数」は11,101世帯となっています。また、「18歳未満の子どもがいる世帯数」のうち、祖父母などのその他の世帯員がいない母親又は父親と子どものみの「ひとり親世帯」を合わせると1,331世帯で、18歳未満の子どもがいる世帯数の約12.0%を占めています。

【子どもがいる世帯のうちひとり親世帯数の推移】

		平成17年	平成22年
総世帯数	(世帯)	40,501	42,895
6歳未満の子どもがいる世帯数	(世帯)	5,050	4,634
	総世帯数に対する比率 (%)	12.5	10.8
18歳未満の子どもがいる世帯数	(世帯)	11,446	11,101
	総世帯数に対する比率 (%)	28.3	25.9
	母親と子どもの核家族世帯	1,114	1,193
	18歳未満の子どもがいる世帯数に対する比率 (%)	9.7	10.7
	父親と子どもの核家族世帯	118	138
	18歳未満の子どもがいる世帯数に対する比率 (%)	1.0	1.2

資料：国勢調査（各年10月1日）

## ⑤児童扶養手当受給者数の状況

18歳まで（障がいがある場合は20歳まで）の子どもを養育するひとり親家庭の生活の安定と自立を図るために、養育している人の所得に応じて支給される児童扶養手当の受給者数は、平成22年度以降は1,300人前後で推移しています。（平成22年8月1日から、父子家庭も対象となりました。）

【児童扶養手当受給資格者数の推移】

(単位：人)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受給者数	1,179	1,305	1,335	1,330	1,325	1,299
全部支給停止者数	148	175	195	193	213	226
計（受給資格者数）	1,327	1,480	1,530	1,523	1,538	1,525

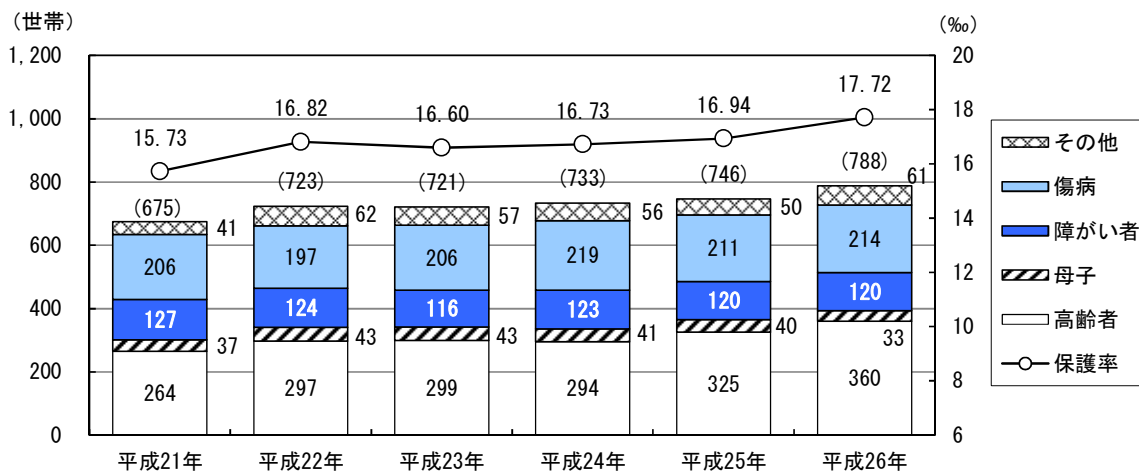
資料：福祉行政報告例（各年度末）

### ⑥生活保護世帯の状況

生活保護世帯は増加傾向にあり、平成 26 年の生活保護世帯数は 788 世帯、保護率は 17.72%（パーミル）となっています。

世帯類型別にみると、高齢者世帯が増加しており、平成 26 年では総生活保護世帯の 45.7%を占めています。今後、高齢化の更なる進展に伴い、生活保護世帯も増加が見込まれます。

【生活保護世帯数等の推移】



資料：丸亀市福祉課（各年 10 月）

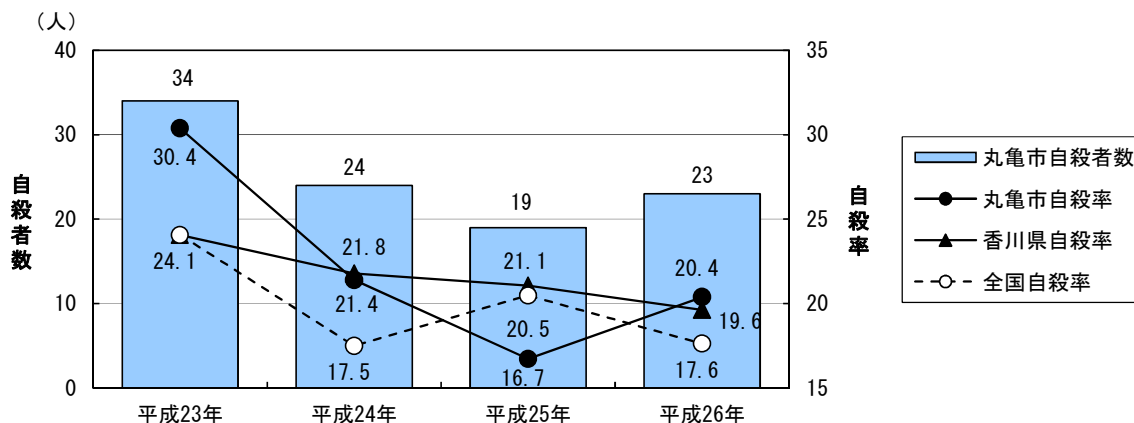
注記：保護率は、‰（千分比）

### ⑦自殺者の状況

自殺者数は平成 25 年までは減少傾向にありましたが、平成 26 年に増加に転じ、自殺者数は 23 人となっています。

自殺率（人口 10 万人当たりの年間自殺者数）は、平成 25 年は全国や香川県平均を下回りましたが、平成 26 年には全国や香川県平均を上回る水準となっています。

【自殺者数及び自殺率の推移】



資料：内閣府自殺対策推進室

注記：「自殺率」は、人口 10 万人当たりの自殺者数

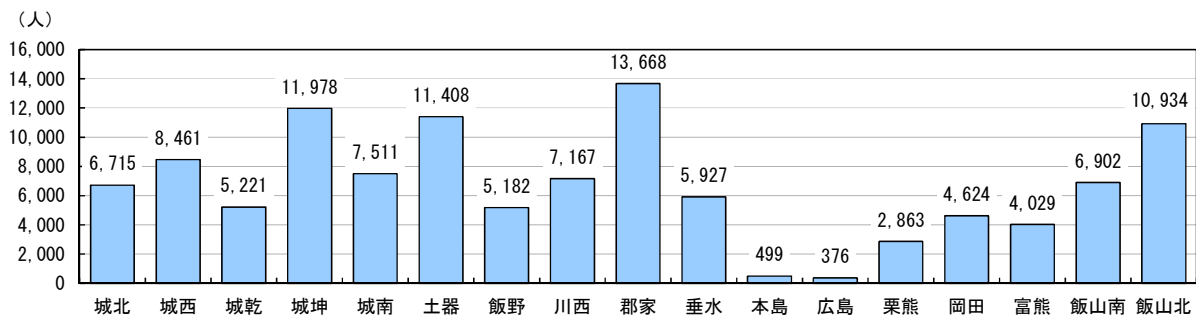
## (3) 地区別の状況

17の地区（コミュニティ）の概況は以下のとおりです。

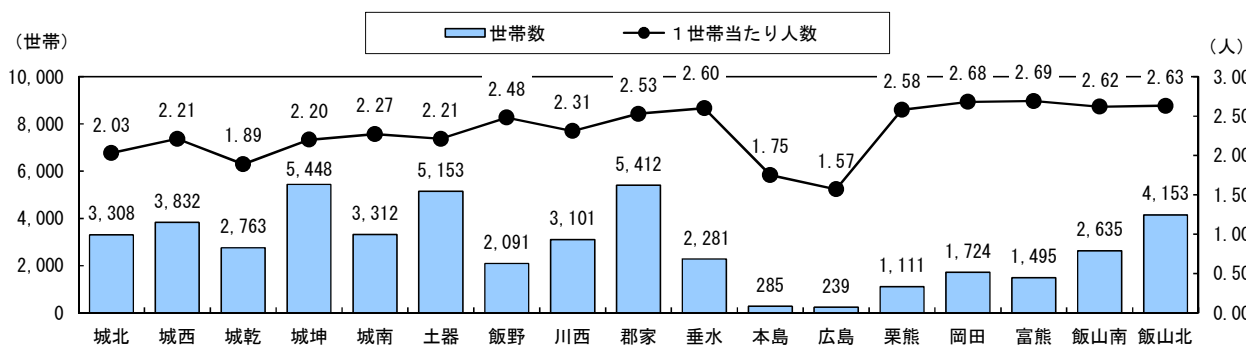
地区	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1世帯 当たり人数 (人/世帯)	年少人口・ 比率 (人・%)	65歳以上 人口・比率 (人・%)	自治会数 (団体)	自治会 加入率 (%)	民生委員・ 児童委員数 (人)
城北	6,715	3,308	2.03	770	2,057	45	73.9	17
				11.5%	30.6%			
城西	8,461	3,832	2.21	1,206	2,338	49	64.0	14
				14.3%	27.6%			
城乾	5,221	2,763	1.89	571	1,591	23	54.9	14
				10.9%	30.5%			
城坤	11,978	5,448	2.20	1,558	3,254	65	51.8	21
				13.0%	27.2%			
城南	7,511	3,312	2.27	1,289	1,688	45	46.6	13
				17.2%	22.5%			
土器	11,408	5,153	2.21	1,679	2,579	57	42.4	18
				14.7%	22.6%			
飯野	5,182	2,091	2.48	770	1,234	20	55.0	8
				14.9%	23.8%			
川西	7,167	3,101	2.31	1,045	1,633	47	41.3	10
				14.6%	22.8%			
郡家	13,668	5,412	2.53	2,286	2,758	113	43.9	14
				16.7%	20.2%			
垂水	5,927	2,281	2.60	986	1,195	43	60.7	7
				16.6%	20.2%			
本島	499	285	1.75	31	287	13	100.0	9
				6.2%	57.5%			
広島	376	239	1.57	2	276	9	100.0	9
				0.5%	73.4%			
栗熊	2,863	1,111	2.58	328	949	47	77.8	5
				11.5%	33.1%			
岡田	4,624	1,724	2.68	549	1,496	85	82.1	11
				11.9%	32.4%			
富熊	4,029	1,495	2.69	533	905	38	72.2	8
				13.2%	33.1%			
飯山南	6,902	2,635	2.62	1,028	1,848	56	63.4	10
				14.9%	26.8%			
飯山北	10,934	4,153	2.63	1,618	2,768	95	65.6	16
				14.8%	25.3%			
全市	113,465	48,343	2.35	16,249	28,856	850	56.6	204
				14.3%	25.4%			

資料：人口、世帯数は住民基本台帳（平成26年10月1日）

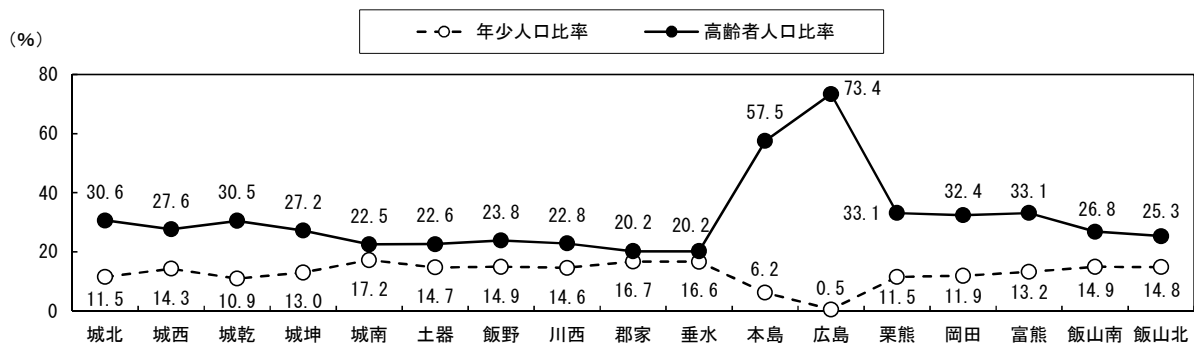
【地区別 人口】



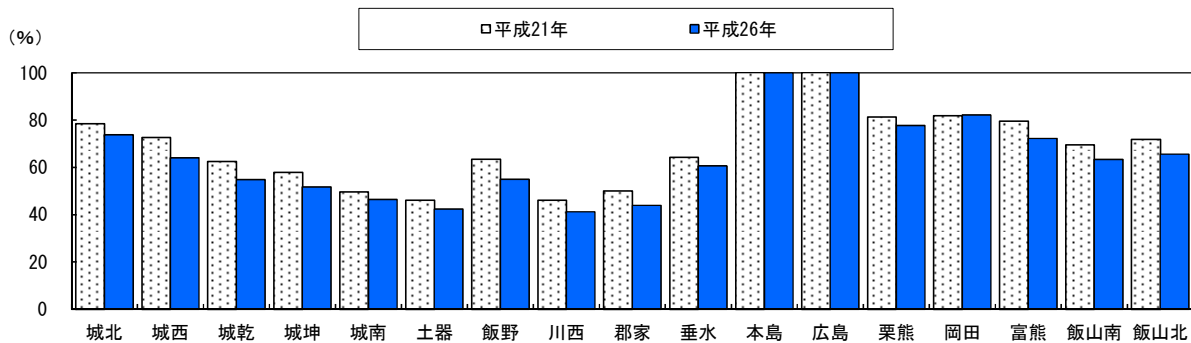
【地区別 世帯数及び1世帯当たり人数】



【地区別 年少人口比率及び高齢者人口比率】



【地区別 自治会加入率】





## (4) 地域福祉を推進する団体

### ①丸亀市社会福祉協議会

社会福祉協議会（略して「社協」と呼ばれています）は、社会福祉法で「地域福祉を推進する団体」と位置づけられた民間の福祉団体です。主体となる住民の参加と福祉関係者の協力を得て、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して福祉活動を行っています。

社会福祉協議会は、全国の都道府県及び市区町村に設置されており、そのネットワークにより活動を進めている団体です。また、民間組織としての「自主性」をもつと同時に、広く住民や社会福祉関係者に支えられた「公共性」をもつ団体です。

地域住民、福祉や保健・医療・教育などの関連分野の関係者、さらに地域社会を形成する様々な専門家・団体・機関によって構成され、地域が抱えている様々な福祉問題を地域全体の問題としてとらえ、みんなで考え、話し合い、協力して解決を図ることを目的としています。

社会福祉協議会は、住民の福祉活動の場づくり、仲間づくりなどの援助や、福祉に関わる公私の関係者・団体・機関との連携、具体的な福祉サービスの企画、実施などを行い、活動を通じて、心ふれあう「福祉のまちづくり」を進めています。

#### ■丸亀市社会福祉協議会における主な地域福祉活動

- 小地域見守りネットワーク活動
  - ・福祉協力員の活動支援
  - ・福祉情報メール配信（愛称：「情報♡ほっとメール」）
  - ・救急医療情報キット配布（愛称：「安心キット」）
  - ・高齢者等への友愛訪問活動
  - ・企業連携型巡回見守り活動
  - ・家具転倒防止器具設置支援事業
  - ・たすけあいサービス事業
- 地区社会福祉協議会（コミュニティ福祉部会）との連携
- ふれあい・いきいきサロン
- 子育て世代支援（おやこカフェ）
- ファミリー・サポート・センター
- ボランティアセンター
- 自立相談支援センター「あすたねっと」
  - ・自立相談支援事業
  - ・家計相談支援事業
  - ・資金の貸付（助け合い金庫貸付事業、生活福祉資金貸付事業）
- 後見センターまるがめ
  - ・成年後見事業
  - ・日常生活自立支援事業

【丸亀市社会福祉協議会会員数の推移】

	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
一般会員（世帯）	25,138	25,724	24,925	24,411	24,250	23,943
賛助会員（名）	352	278	263	261	251	247
法人会員（団体）	189	189	154	257	286	263

資料：丸亀市社会福祉協議会（各年度末）

## （5）地域における福祉の主な担い手

### ①地域コミュニティ

丸亀市では、小学校区を単位として17の地域コミュニティが組織され、地域コミュニティ組織には、自治会や老人会、婦人会など、地域に所在する各種の団体・協議会などが参加し、コミュニティセンターを中心に活動しています。

また、地域コミュニティの福祉部会が、地区社会福祉協議会（地区社協）の役割を担っています。

### ②民生委員・児童委員

民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、ボランティアとして地域の福祉活動を行っています。また、民生委員は児童福祉法に定める児童委員を兼ねることとされており、丸亀市では204人の民生委員・児童委員が活動しています。民生委員・児童委員は、自らも地域住民の一員として、それぞれが担当する区域において、住民の生活上の様々な相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割を果たすとともに、高齢者や障がい者世帯の見守りや安否確認などにも重要な役割を果たしています。

また、民生委員・児童委員の一部は、厚生労働大臣により「主任児童委員」に指名されています。主任児童委員は、担当区域を持たず、民生委員・児童委員と連携しながら子育ての支援や児童健全育成活動などに取り組んでおり、丸亀市では28人の主任児童委員が活動しています。

### ③福祉ママ

福祉ママは、丸亀市社会福祉協議会会長から委嘱されたボランティアで、女性の立場から、民生委員・児童委員と協力しながら各地域内の福祉の向上を図ることを目的に、活動しており、丸亀市では176人の福祉ママが活動しています。60歳以上寝たきり高齢者実態調査を年2回実施し、友愛訪問を行ったり、老人・障がい者・児童施設での訪問奉仕、コミュニティと連携しての地域福祉活動、福祉団体行事への参加協力を行っています。また、活動の基盤づくりとしてチャリティーバザーを毎年12月第1日曜日にひまわりセンター（丸亀市保健福祉センター）で行っています。